

# 入院診療計画書 「経皮的下肢血管形成術を受けられる

さんへ」

(病名) (症状) 下肢痛・しびれ感 (説明日) 年 月 日 (ご本人・ご家族) 確認サイン

月 日	月 日	治療当日	月 日	月 日
経過	入院時～治療前日	治療前	治療後	治療後1日目～退院時
到達目標	入院当日から退院までのスケジュールがわかり安心して治療を受けることができる			
治療処置	身長・体重を測定いたします。 足の脈が触れるかどうか調べ、足の甲に印をつけます。 腎機能が低下している方は点滴を始めます。	治療前から点滴をいたします。 尿の管を入れてから治療に行きます。 	安静時間終了後、ベルトの圧迫を外し創部に絆創膏を貼ります。	創部の状態を観察いたします。
手術	□無・□有 (術式: )			
検査	必要に応じて以下の検査をいたします。 ・採血、尿の検査 ・動脈硬化を調べる検査 	追加の検査がある場合はお知らせいたします。	尿の管をいれなかった場合は安静時間が終わりましたら尿をためていただき、尿量・尿比重を測定します。	治療前と同様の動脈硬化を調べる検査を行います。
薬剤服薬指導	日ごろ飲んでいる薬や、薬のアレルギーがあればお知らせください。 治療前に中止になる薬もあります。	血圧や心臓の薬はいつものように服用してください。 抗生剤を朝、昼、夕に内服します。	治療後抗生剤の点滴を行う場合もあります。 	中止していた薬剤の再開や新しい薬が始まる場合があります。 
全身管理症状	体温・脈拍・血圧を測ります 今までにかかった病気などについて伺います。	治療前に体温、脈拍、血圧を測定いたします。	適宜体温、脈拍、血圧、尿量を測定します。 痛みや足の痺れ、具合が悪いときはすぐにお知らせください。	体温、脈拍、血圧を測定します。
食事栄養指導	特別な栄養管理の必要性 □有 ・ □無 普通食か治療食です。 お身体の状態に応じて栄養状態を良くするための支援を行います。	昼食は待ち食か半量程度になります。 飲水はできます。 	治療直後より飲水でき、造影剤排泄のため多めの飲水が必要です。 治療1時間後より食事ができます。	
安静	制限はありません。 	治療へはベッドで行きます。 治療後は穿刺部をベルトで圧迫します。ベルトが外れるまでは絶対安静ですので起き上がることができません。通常安静時間は5～6時間ですがカテーテルの大きさや止血方法によって安静時間が変更になりますのでその都度お伝えします。	安静解除後下着を着用できます。 	制限はありません。 
清潔	シャワーができます。	点滴を行う前にシャワーができます。 治療前に浴衣式の病衣に着替えます。 下着、時計、眼鏡、入れ歯を外して治療に行きます。		治療後2日目以降は入浴ができます。
患者・家族への説明	入院診療計画書、治療について説明いたします。 看護師が入院生活について説明いたします。 治療・福祉などのご相談がある場合は、看護師か相談員にお尋ねください。	治療同意書を提出をお願いします。 治療の際はご家族の同席をお願いします。	主治医が退院までに治療結果について説明いたします。	原則として退院は午前中(土日は午後)にお願いいたします。 退院後の注意事項や外来予約について説明いたします。

※症状により、予定と異なる場合があります。分からないことがあれば、お気軽に医師や看護師にお尋ねください。

※なお、この計画書を病院側から受け取られた後は、患者さんの責任の下、保管していただきますようお願い申し上げます。

( 病棟 号室) 主治医 印 担当看護師署名 担当者署名